



令和2年7月31日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

今年は、年長さんが年少の時から育てていたタマネギやジャガイモが例年になく大きく育ちました。また、ツバメのひなも6月と7月の2回孵りました。誰もが初めての出来事に出会い、戸惑いながらも一生懸命『今できることは何か?』と考えながら歩んでいる今、自然が驚きや喜びで私たちを癒してくれているようです。

幼稚園が再開して2か月。子どもたちは、雨続きの日も暑い日も『今できること』にしっかりと向き合い、自分から様々なことに取組み、「どうしてかな?」「もっとこうしよう!」と活動を進めていました。その中で、新しい生活様式についても少しずつ身に付け、自分たちで声を掛け合い教え合う姿も見られるようになってきました。このような成長が見られるのも、保護者の皆様に様々な園からのお願いに対応していただき、ご協力いただいたおかげとっております。1学期間、ありがとうございました。そして、健康で充実した夏休みをお過ごしください。

## 遊びは学び!

幼稚園は2か月間休業をしていました。その間、園から『このような遊びを経験してほしい』ということを発表してきました。本来なら、園で経験している遊び。家庭で経験することで、保護者の方にはいろいろな気づきがあり、「こんな風に教えるのですね。」「なかなかうまくいきません。」など声を寄せていただきました。家庭で保護者の皆さんと一緒に過ごした期間を経て、2か月遅れの幼稚園再開。『子どもたちはどのような姿を見せてくれるのだろうか?』と園生活が始まる喜びと予想ができないことへの不安が入り混じったスタートでした。子どもたちの自発的な活動を大切にしたいということと、密を避けるために園舎内外すべてを活動の場ととらえ、第1学期を過ごしてきました。虫探し、公園、ショーごっこ、流しソーメン、忍者ごっこ、基地づくり、リレー、サッカー、水遊び、お化け屋敷、お店屋さんなど、2か月とは思えないような様々な遊びが展開されました。夢中になって遊び、『もっと楽しくしたい』『もっと本物みたいになりたい』という思いが芽生え、それを実現するためには『どうしたらよいか』と考え、活動を進めていました。この探求心が、学びにつながる力になっていきます。子どもたちの活動が発展してくるとストーリーが生まれその中で多様な思いを抱いていきます。第2学期も、子どもたちの自発的な活動を大切に、沢山の学びが得られるようにしたいと思います。運動会もその一環です。今から運動会に向かって子どもたちは『これをやりたい!』という思いをもち始めています。子どもたちが考えや思いを出し合い、創り上げていく運動会。その過程を温かく見守っていきましょう。子どもたちが夢中になって遊ぶとき、遊びの中には学びがいっぱいになります。



リレー  
運動会でやりたい競技  
ナンバー1



サッカー  
もしかしたら何かの競技の  
対抗試合があるかも?



虫探し  
子どもたちから出た遊びが  
変化して競技になることも!

## おおきなあれ！～さくら組～

幼稚園で一番最初に登園してくるのがさくら組。所持品の始末を終えると、園庭に飛び出してきて、友達と一緒に虫探しや水遊びや砂遊びを始めます。中には、登園してくる自転車の台数を数えながら、年長さんや保護者の方に挨拶をしている子もいました。年長さんが登園してくると、さらに行動範囲が広がり、年長さんのしているカメの世話や遊戯室での公園ごっこなどいろいろな遊びにも参加していました。好奇心旺盛なさくら組さん。第2学期も、意欲的にいろいろなことに挑戦していくことでしょう。



カラーポリ袋・トイレトペーパーなど、いろいろな素材で自分のイメージを表現する喜びを感じながら、友達と力を合わせて作っていました。協同性や表現する力が育ったお化け屋敷



自分の作りたいものが  
できるまで頑張った  
ブロック遊び

同じ場に集まった友達と  
『一緒にやりたい』という  
気持ちが芽生えた砂遊び

どんな所にダンゴムシが  
いるか考え探求心が  
育った虫探し

「大きくなって！」「色が  
変わってる！」変化に気付き  
関心が高まった栽培活動

## おおきなあれ！～ほし組・うみ組～

年少の時の大切な最後の1か月。『年長さんからカメの世話を教えてもらおう！』と張り切っていたのもつかの間。園生活で年長さんが担ってくれていたことを十分引き継がれないまま、年長組になりました。ですが、友達と教えてもらったことのわずかな記憶を辿ったり、自分たちで考えたりしながらカメの世話や、当番の仕事をはじめた子どもたち。ほし組・うみ組の子どもたちがもっている『自分たちは年長組！』という自覚と、『やるぞ！』という意欲の強さを感じました。年長組としての2か月の生活の中で、年少組や地域の方のことを思い生活する優しさも見せてくれました。頼もしい限りです。第2学期も、酒匂幼稚園の年長組として、様々な力を発揮してくれることと思います。今から楽しみです。



友達と教え合いなが  
らカメの世話

言葉のやり取りが豊か  
になったお店屋ごっこ

音を確かめながら演奏。協  
同性や豊かな感性が育った  
ハンドベル遊び

見つけた虫について思ったこと  
を伝え合い思考力や言葉で伝え  
合う力が育った虫探し



トンネルのような形や等間隔に  
並べられたかまぼこ板や牛乳パ  
ック。思考力や数や図形の  
感覚が培われたドミノ

『本物みたいにしよう！』という思いから、牛乳パックから竹へ素材が変化。水がスムーズに流れるように節を取ったり傾斜をつけたり。思考力や協同性が培われた流しソーメン

## 地域の方の温かい思い

初めて出会う出来事のおかげで、今までにはなかったこともありました。地域の方から「花が咲いたから。」とホテイアオイをいただきメダカの飼育に発展したり、夏祭りが中止になり使うはずだったカブトムシをいただいたり、地域の方の温かい心に触れる経験がありました。



地域の方からいただいたホテイアオイ。ちょうどその頃年長さんのおうちの方からメダカもいただき、メダカの飼育がスタート。かわいすぎて餌をやりすぎてしまうことも！メダカのお父さんお母さん、がんばって!!!

地域の夏祭りに使う予定だったカブトムシをいただきました。各クラスで大切に育てています。



幼稚園の木の下で幼虫を見つけ、「ここにカブトムシがくるかも！」と仕掛けを作っていました。カブトムシとの出会いから活動が進展しました。



## そだてやさん

そだてやさんには、元気な野菜がたくさん育っています。子どもたちが心豊かに育つようにと、畑の先生鈴木英雄さんが、折に触れ来園してくださり子どもたちと共に畑の耕しから育て方の指導までしていただきます。子どもたちは、鈴木さんのことが大好き。畑で収穫した作物を鈴木さんにプレゼントしていました。そだてやさんの活動で、野菜だけでなく子どもたちの優しい心もすくすくと育っています。

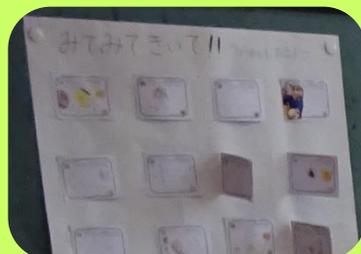


鈴木さんへ畑のことを教えてくださったお礼のプレゼントを渡しました。

収穫したジャガイモと玉ねぎは家庭に持ち帰りました。どんな料理になったか書いてある“みてみてきて!!”カードが幼稚園に戻ってきました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



「鈴木さん、これ見て!」「大きいのができてるね。うまいうまい!」褒められて嬉しそうなおもたち。



「あかちゃんすいか!」「触らないようにしましょう!」大切にしようという思いを共有。



## 夏休みに向けて

新型コロナウイルス感染症が心配される中での夏休みです。感染の可能性を減らす行動を心掛けましょう。大人が過剰な警戒をすると、子どもは不安を感じます。正しい予防の知識や情報をお子さんに知らせてください。感染の危険を自分で減らすことができると感じる事が大切です。お子さんの心の安定を大切に考え、今までとは違う、新しい生活様式の中での充実した夏休みを過ごせるよう工夫をしてみてください。

【次のような試みはどうでしょう】

出かけることが少なくなった時間を利用して…

- 絵本の読み聞かせや製作遊びなど、家庭でできる遊びを一緒にする。(豊かな心が育ちます。)
- 料理を作る、洗濯物をたたむなどを生活に必要なことを一緒にする。(人の役に立つ喜びを感じます。)
- 少し早起きをして散歩をする。(自然に触れることで様々な発見があり知的な好奇心が育まれます。) など

【新型コロナウイルスについての話】

お子さんが不安を感じている様子が見られたら、そばにいる時間を増やしてください。また、次のことを伝えてあげてください。

- 子どものことを、周囲の大人が守り世話をしてくれること。
- 手洗いやうがいや規則正しい生活をする事で感染予防ができること。

保護者の皆さんが、正確な情報を得て自分ができることを考えて行動する姿を見せることが、子どもたちの心身の健康や自分で考えて行動する力につながります。

## ありがとうございました

地域の  
皆様へ

衛生用品が不足する中、喜楽会・日赤酒匂分団・たすけあい・酒匂7区自治会・酒匂中学校区青少年健全育成協議会からマスクやアルコールのご寄付をいただきました。また、子どもたちのために地域の方からカブトムシやホテイアオイやメダカをいただき、子どもたちの活動が広がりました。地域の方との触れ合いを今までのように行うことができない第1学期でしたが、地域の方の温かさを感じる出来事がたくさんありました。『子どもたちのために』と、いろいろと心を砕いてくださっている地域の皆様に感謝いたします。

地域の  
皆様へ

芝生の園庭での始業式と入園式。思いもよらない形での式になったにも関わらず「良い式でした。」という言葉。分散登園等、保護者の方に負担をおかけしている中、「先生たちも大変ですね。」という言葉。いろいろな言葉に支えられ過ごしてきた第1学期でした。新しい生活様式の中での園生活を温かく見守りご協力いただきましたこと感謝いたします。そして、これからも保護者の皆様にご協力いただきながら、子どもたちのために職員一同力を合わせていきますので、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

## おだわらっ子の約束

今年度から毎月のおだわらっ子の約束を、年長組はクラスで話し合って決めています。年少組はクラスの様子によって必要なものを選んでその月の約束にしています。夏休みの間は、家庭で話し合ってお子さんと決めて、家族みんなで守るようにしてください。

